

京成本線荒川橋梁架替事業について

平成22年6月10日

- ・国土交通省が事業主体となり、広域的な地盤沈下により堤防より低くなった橋梁を高い位置に架け替え、治水上の弱点を解消することを目的としている。
- ・平成19年10月に架替事業に係る事業説明会が開催され、その後、足立区側の京成関屋駅から荒川右岸堤防までのルートの再検討が行われたが、この度、その検討が完了し、下記の通り新たなスケジュール案が提示された。
- ・本年夏頃から平成24年度までの予定で環境影響評価に基づく手続きが開始される予定である。

■ 京成本線荒川橋梁架替事業 スケジュール(案)

		H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27年度 以降	備 考
各種 工程	概略設計	■	■							
	環境影響評価			■	■	■				
	各種協議・調整			■	■	■	■			
	用地測量						■	■	■	
	補償説明・協議							■	■	

※本スケジュール(案)は最短工程を示しており、諸条件により変更となる可能性があります。

<添付資料>

- ・京成本線荒川橋梁架替事業パンフレット